

平成
22年度

一般会計予算68億3800万円

(対前年比▲3.4%)

賛成多数で可決

平成22年度予算は、2分科会で審議のあと3月11日に予算特別委員会（青木彰榮委員長）で全11会計について審査を行いました。

用・景気対策を重視

127億4,662万円 (対前年比▲3.3%)

平成22年度各会計当初予算			
会計名		予算額	
一般会計		68億3,800万円	
特別会計	十王財産区	50万円	
	下水道	7億3,320万円	
	国民健康保険	16億3,170万円	
	老人保健	2,378万円	
	農業集落排水	1億3,967万円	
	介護保険	13億8,176万円	
	後期高齢者医療	1億4,710万円	
企業会計	水道	収益的支出	3億1,577万円
		資本的支出	1億8,305万円
	病院	収益的支出	11億8,200万円
		資本的支出	1億3,539万円
	訪問看護	収益的支出	3,320万円
		資本的支出	150万円
総額		127億4,662万円	

※万円未満は端数を整理しています。



討論

賛成

反対

反対討論 佐竹典明議員

最初に、他自治体に先駆けでの出生から中学卒業までの医療費の無料化、地域課題の一助となる集落支援員の配置、県事業である荒砥橋架け替えの早期実現の展望が出てきたことなどは評価すべきです。問題は、農業・米政策では、戸別所得補償制度の対象が10年度産米からで、09年度産米は補償されない仕組みです。09年度の過剰米対策が求められます。田中種畜牧場の悪臭問題は、最初に、他自治体に先駆けでの出生から中学卒業までの医療費の無料化、地域課題の一助となる集落支援員の配置、県事業である荒砥橋架け替えの早期実現の展望が出てきたことなどは評価すべきです。問題は、農業・米政策では、戸別所得補償制度の対象が10年度産米からで、09年度産米は補償されない仕組みです。09年度の過剰米対策が求められます。田中種畜牧場の悪臭問題は、

反対議員(2人)
本木勝利議員
佐竹典明議員

賛成討論 守谷丹吾議員

本町の最近の経済状況は、一部に持ち直しの動きが見られるものの引き続き低迷していると考えられています。そのようななかでの22年度予算は、鮎貝まちづくり事業やスクールバス導入事業の終了、町税等の減収などから総額でマイナスになりました。しかし地方債残高は、21年度末で約84億円が、22年度末では約79億円になることや、実質公債費比率も18%を下回る見込みになったことは、県の

許可を必要とする起債の基準値を下回ることになり喜ばしいことです。

中学生までの医療費を無料にする「しらたか元気っ子事業」や妊婦の方に支援する「ニコニコマタニティライフ応援事業」と緊急雇用対策などは、町民が安全・安心に暮らせるための事業として期待し賛成討論とします。

賛成議員(11人)
五十嵐政司議員
菅 祐二議員
岡田 明議員
青木彰榮議員
加藤秀人議員
今野正明議員
遠藤幸一議員
守谷丹吾議員
関千鶴子議員
菅原隆男議員
佐藤京一議員